

Ⅱ．結果の要約

1．出生数は増加

出生数は7,140人で、前年の7,122人より18人増加した。
出生率（人口千対）は7.4で、前年の7.3を上回った。
合計特殊出生率は1.55で、前年の1.52を上回った。

2．死亡数は減少

死亡数は12,609人で、前年の12,773人より164人減少した。
死亡率（人口千対）は13.0で、前年の13.1を下回った。
死因別に見ると、死因順位の第1位は悪性新生物、第2位は心疾患（高血圧性を除く）、第3位は肺炎であり、全死亡者に占める割合は、それぞれ27.0%、17.8%、10.4%となっている。

3．自然増減数は増加

出生数と死亡数の差である自然増減数は△5,469人で、前年の△5,651人より182人増加した。
自然増減率（人口千対）は△5.7で、前年の△5.8を上回った。
平成10年以降は、毎年死亡数が出生数を上回っている。

4．死産数は減少

死産数は148胎で、前年の173胎より25胎減少した。
死産率（出産千対）は20.3で、前年の23.7を下回った。

5．婚姻件数は減少

婚姻件数は4,419組で、前年の4,618組より199組減少した。
婚姻率（人口千対）は4.6で、前年の4.7を下回った。

6．離婚件数は減少

離婚件数は1,914組で、前年の1,961組より47組減少した。
離婚率（人口千対）は1.98で、前年の2.01を下回った。

※表中の数値は、四捨五入によっているため、端数において合計が一致しない場合がある。